

先を見通す力

朝晩の寒さも厳しくなり、各地から積雪のたよりが聞かれる季節となりました。先の台風や大雨によって、関東甲信越・東北方面では、甚大な被害が起こってしまったと報道されていますが、お亡くなりになられた方々に対しましてご冥福をお祈りいたします。また、被害にあわれた方々へは、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復旧復興がすすむことをお祈りいたします。改めまして、日頃からの災害に対する心構えや災害対策の重要性を感じ、身の引き締まる思いがいたします。

本校の学芸会には、朝早くからたくさんの方々にご来校いただきまして心より感謝いたします。これからも家庭と地域と学校が手を取り合い、理解と協力を深めることが、健やかな子どもの育成には欠かせないことと信じております。今後ともご協力よろしく願いいたします。

学芸会を通して、子どもたちは大きく成長しました。準備・練習が始まった日から後片付け・反省まで、一生懸命に取り組み、一人一人の「良さ」が発揮できたことは大変うれしく思います。そして、学芸会の頑張りを次の学校生活につなげる時期になってまいりました。規則正しい生活を送り、学習に集中できることを願っています。



学芸会 ; 全校合唱の様子

人間が生活する上で、『先を見通す力』はとても大切なことだと思います。「明日の授業はこの教科があるから、この持ち物が必要だ。」「来週はテストがあるから、ワークやノートを使って復習しよう。」「学芸会が近いから、家でも劇の演技の練習をしよう。」「今週の土曜日は予定がないから、部屋の模様替えをしよう。」などなど、特に学校生活では目標や計画を立てて取り組む活動が多く用意されています。そして、その結果がどうであったかを反省したり、評価したりすることも多くあります。そのことで、子どもたちは達成感を味わったり、次へのステップにつなげたりして成長していきます。

大人になってからも、『先を見通す力』は目標を持ったり、生きがいを感じたりする上で必要になってきます。また、豊かな生活を送ったり、たくましく生きていくためには欠かせないことだと考えます。

ここで、その『先を見通す力』を鍛える方法を3点ほどお伝えしたいと思います。

- ① 周囲にアンテナを張って、できるだけ多くの情報をキャッチすること
- ② さまざまな人と積極的にコミュニケーションを取ること
- ③ 常にポジティブな状態で過ごすこと

私たちが、5年後、10年後、20年後にどんな生活をしているのかイメージを膨らませながら、子どもたちの成長を地域、家庭、学校が協力して支えていきたいと願っています。

校長 奥村 繁義